

記録 広島中国近代史研究会例会(2015年9月～2020年2月)

*所属は当時のものである。

2015年

第163回 9月19日

飯塚靖（下関市立大学）

内閣情報機関と中国引揚者調査：「中共事情」作成の背景とその史的価値

久保茉莉子（東京大学人文社会系研究科博士課程後期）

南京国民政府時代の刑事訴訟

第164回 12月12日

美馬芳江（広島大学文学研究科博士課程後期）

1930年代における江蘇省蚕業改進黨管理委員会の事業展開

金子肇（広島大学文学研究科）

戦後上海の税政と工商同業公会：貨物税制度を素材に

2016年

第165回 1月29日

金俊（浙江工商大学）

中国の近代と神話の発明：孔子神話と黄帝神話、そして中華民族論

第166回 4月16日

ハムゴト（広島大学総合研究科博士課程後期）

内モンゴル民族主義運動の研究（1924～37年）

小松正幸（広島大学総合研究科博士課程前期）

満州建国大学の学生生活と「五族協和」：満系漢族学生から見た「五族協和」

第167回 7月9日

吉田芳江（広島大学文学研究科博士課程後期）

南京国民政府期における江蘇省の繭行統制

水羽信男（広島大学総合科学研究科）

書評：石井知章・緒形康編『リベラリズムの政治空間』（勉誠出版、2016年）

第 168 回 12 月 17 日

白神直弥（広島大学総合研究科博士課程前期）

近年のアジア主義の研究動向の整理

小野寺史郎（埼玉大学）

2016 年の歴史学界：回顧と展望（中国・近代）

吉田芳江（広島大学文学研究科博士課程後期）

国際学会参加報告：第 17 回兩岸三地歴史学研究生論文発表会

丸田孝志（広島大学総合科学研究科）

日中共同研究 中国当代史研究ワークショップについて

2017 年

第 169 回 5 月 20 日

丸田孝志（広島大学総合科学研究科）

書評：梅村卓『中国共産党のメディアとプロパガンダ』

戦後満洲・東北地域の歴史的展開』（御茶の水書房、2015 年）

金子肇（広島大学文学研究科）

書評：陳來幸『近代中国の総商会制度 繋がる華人の世界』

（京都大学学術出版会、2016 年）

コメント：曾田三郎（広島大学文学研究科名誉教授）

第 170 回 8 月 18 日

金俊（浙江工商大学）

康有為における理想郷と共同体認識

第 171 回 10 月 21 日

紀勇振（広島大学文学研究科博士課程後期）

戦後初期、東北における中共のソ連に関する宣伝：『東北日報』を中心に（1945 年 11 月～1946 年 5 月）

丸田孝志（広島大学総合科学研究科）

書評：小野寺史郎『中国ナショナリズム 民族と愛国の近現代史』（中公新書、2017 年）

第 172 回 12 月 23 日

金子肇（広島大学文学研究科）

擬制としての議会専制—人民代表大会制の歴史的位相—

水羽信男（広島大学大学院総合科学研究科）

「中国共産党と知識人」をめぐる読書ノート

楠原俊代『韋君宜研究 記憶の中の中国革命』（中国書店、2016年）

聶莉莉『「知識分子」の思想改造 建国初期の潘光旦、費孝通とその周辺』（風響社、2016年）

2018年

第173回 2月3日

汪正晟（台湾・中央研究院近代史研究所）

現代性対国民政府時期青年政治実践的影響

第174回 3月24日

鈴木航

戦間期中国浙江省の新聞界にみる訓政的公共性：項士元『浙江新聞史（1930）

を手がかりに

坂井田夕起子

真宗大谷派の厦門開教と台湾：開教使神田恵雲を中心に

第175回 6月30日

中村元哉（津田塾大学）

米ソ冷戦下の香港と台湾におけるリベラリズム：民国史から読み解く

第176回 10月13日

紀勇振（広島大学文学研究科博士課程後期）

東北における中国共産党の宣伝戦略：北満根拠地のソ連宣伝を中心に

堀優馬（広島大学文学研究科博士課程前期）

南京国民政府期の法医鑑定制度

第177回 12月8日

金子肇（広島大学文学研究科）

新約法体制の立憲的可能性と第一次世界大戦

土居智典（長崎外国語大学）

清末預備立憲改革と各省総督・巡撫

2019年

第178回 5月18日

田莉（広島大学総合科学研究科博士課程後期）

『知新報』に見る中国変革論

陶一然（広島大学文学研究科研究生）

戦時上海における新聞の役割と大衆社会：日本占領期における上海紙『申報』
から見る大衆

第179回 8月25日

合評会 金子肇『近代中国の国会と憲政 議会専制の系譜』をめぐって

書評者 森川裕貫（関西学院大学） 奈良勝司（広島大学文学研究科）

第180回 11月16日

佐野実（長崎県文化振興課）

借款の運用と地方社会

呉憲占（広島大学文学研究科博士課程後期）

『清議報』に見る清末の華僑社会

2020年

第181回 2月11日

陳建守（台湾・中央研究院近代史研究所）

以「啓蒙」的名義：1930年代的新啓蒙運動